



門川中校長室だより

新風

第2号

令和2年6月22日

門川町立門川中学校

校長 濱砂 光弘

本校は、コミュニティスクール！

本校は、昨年度からコミュニティスクールです。保護者の皆様のご理解をいただくために、再度コミュニティースクールの説明をします。

今の子どもを取り巻く社会は、私たち大人が子どもの頃の環境と大きく変わり、「変化が激しく、予測困難な未来」と言われます。また学校では、キャリア教育、いじめ・不登校、部活動、防犯・防災対策、食育など、課題が山積しており、もはや、「学校だけで解決することは困難」と言ってもいい状況です。更に、「学校は地域の学校」です。将来は、保護者の皆様のお孫さんが入学するかもしれません。本校は、地域の学校として永久にここに存在するのです。

このようなことを考えると、どんな子どもを育っていくのかを学校、家庭、地域の人が明確にもち、協働することが必要です。そこで、学校や地域が抱える課題を解決するとともに、将来地域を担う人材を育成するために「学校運営協議会」を設置します。この「学校運営協議会」が設置された学校のことを、コミュニティースクールと言います。

「学校運営協議会」とは、地域住民の代表者と教職員が構成員です。学校の在り方や地域との連携・協働の在り方について話し合う合議体です。これまででは、校長が「めざす生徒像」などを決め、学校経営方針を作成してきましたが、校長が地域の皆さんの意見を参考に「どんな学校を創っていくか。」を決め、『地域とともにある学校』をめざしていきます。

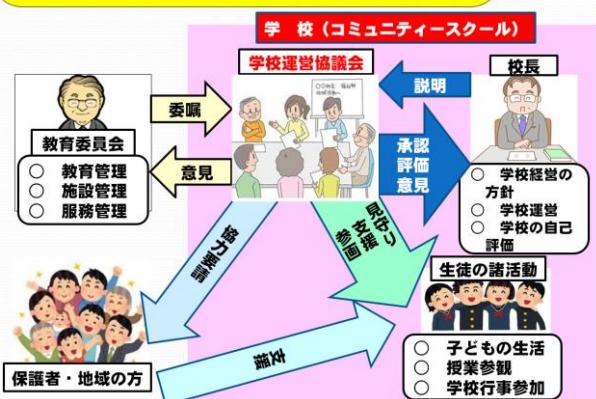
第1回学校運営協議会を6月4日（木）に実施しました。本年度は、10名の委員が門川町教育委員から委嘱され、「地域が学校の活動にどのように関われば、教育目標に掲げる姿に近づくことができるか。」「学校が地域にどのように関われば、教育目標に掲げる姿に近づくことができるか。」ということについて協議し、様々なアイディアを出し合いました。今後、地域と家庭と生徒がどのような活動をしていくか、具体的にお知らせしますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

新型コロナウイルス感染症に係る「新しい生活様式」

6月9日（火）に、生徒総会を実施しました。本来は、5月に全校生徒が体育館に集まり、1年間の生徒会活動を話し合うところですが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年のやり方ではできません。生徒会役員が放送で進行し、各学級で話し合うという初めての試みでした。いまだに全校生徒を体育館に集めることはしていません。しかし、生徒は今できることをできる方法でしっかりやろうしてくれています。本校生徒の偉いところです。

さて、6月19日（金）に、都道府県境を越える異動について制限が解除されました。しかし、新型コロナウイルス感染症のリスクは0になったわけではありません。引き続き学校でも、3密を避ける、換気をする（エアコン使用の場合は、対角線上に15cm窓を開けています。）、手洗いの徹底、マスクの着用などを行っていきます。ご家庭でも協力を願いします。

コミュニティスクールとは？



【第1回学校運営協議会の様子】



【生徒総会で地域の方へのインタビューを見る生徒の様子】